

科目名 : 美術 (英文科目名 : Art)
1 単位 必修 1 年全学科 前期または後期 各教室及び校内

担当教官 : 齋藤千明

授業目的 : 自分のイメージ、構想が的確に表現できるよう、デッサン、水彩、アクリル画などの基礎的技法、知識を実習や鑑賞を通して修得する。

達成目標 : 1、描画材料の特性を理解し技法を修得する。
2、作品鑑賞を通してさまざまな絵画表現を理解する。

教科書 : 高校美術 I 日本文教出版株式会社

参考書 : 図書館などで画集、写真集など作品制作に参考となる書籍を探すとよい。

学習方法 : 予習-得に準備は要らないが、参考となる資料を集める事が望ましい。
授業-講義内容を理解し、課題提出期限に遅れぬよう計画的に制作すること。
復習-授業時間に終了できなかった作業、制作の遅れは自宅で補う。

キーワード : 遠近法 (パースペクティブ), マチエール, コラージュ, 具象表現, 抽象表現, 色彩, 構図,

授業内容 : 課題 1 (風景画)

- 1、ガイダンス (制作計画)
観察による表現について (表現の内容と表し方の工夫, 構図, 遠近, 色彩, 季節感など)
アクリル絵具の技法説明 … 1 週
- 2、ラフスケッチ (構図を決める)、鉛筆デッサン … 1 週
- 3、アクリル絵具による彩色 … 3 週
- 4、仕上げ … 1 週
- 5、作品講評 (提出) … 1 週

課題 2 (人物画, 静物画, イメージ画の中から選択)

- 1、美術史、作品鑑賞 (各テーマ別に参考作品を解説) … 1 週
- 2、各自テーマを決めてアイデアスケッチ … 1 週
- 3、鉛筆デッサン … 1 週
- 4、彩色 … 3 週
- 5、仕上げ … 1 週
- 6、期末講評 (作品発表と解説) … 1 週
作品講評後、提出

授業方法 : 課題 1 (風景画) と課題 2 (自由作品) の 2 作品を制作し、提出させる。
課題 1 の作品講評は各自制作を通して感じた事や、でき上がった作品についての感想など述べ合い、制作についての反省と課題を考えさせる。
課題 2 は、できるだけ自由な発想で作品に取り組めるよう、画集、ビデオなどを用い、美術鑑賞をさせる。

カリキュラム中の位置づけ :

1 年全学科必修の美術は、創造活動を通して、美的体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、美術を愛好する心情を養う科目である。

この学科を学ぶために先行して理解する必要のある科目： 特になし。

この科目と同時に学ぶ関連科目： 特になし。

この科目の後に学ぶ関連科目： 特になし。

評価方法： 試験は行わない。課題1（風景画）と課題2（自由制作）の2作品評価を総合する。
作品未提出者は評価対象外とする。特別な事情で提出が遅れた者に対しては、通常の評価を行うが、その他の場合は、再試験と同様の評価となる。
授業態度や欠課により減点する場合もある。

定期試験実施方法： なし。

連絡事項： 課題の提出は試験と同様である。提出期限は必ず守ること。

学生へのメッセージ： 最後まで手を抜かず自力で完成させるよう努力してほしい。